



Platform
for Sustainable Cocoa
in Developing Countries

開発途上国における サステイナブル・カカオ・プラットフォーム 2024 年次レポート



2025年4月30日



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

Deloitte.
デロイト トーマツ

開発途上国におけるサステナブル・カカオ・プラットフォームの概要および本年次レポートの位置づけ

設立 : 2020年1月

事務局 : 独立行政法人国際協力機構(JICA)

会員数 : 正会員 72、準会員 145 (2025年4月時点)

目的 : 開発途上国における**社会的・経済的・環境的に持続可能なカカオ産業の実現**をめざす関係者間の協働を促進することを通じて、その実現を図る上での課題の解決を推進する。

活動 : (1) 会員間の情報・経験の共有
(2) 会員間の協働の促進
(3) 国内外に対する発信 等



プラットフォームが取り組む主な課題

社会的な課題

- ✓ 児童労働



環境的な課題

- ✓ 森林破壊・環境破壊
- ✓ 生物多様性の損失

経済的な課題

- ✓ 農家からの買取価格の低さ
- ✓ 農家の不十分な所得

本レポートの位置づけ

開発途上国におけるサステナブル・カカオ・プラットフォームの1年間の活動を報告します。また、個々のプラットフォーム会員企業／団体による持続可能なカカオ産業の実現に向けた取組の一部を紹介します。

【2024年度】プラットフォームの取り組み



年次目標策定



プラットフォーム年次目標策定

プラットフォームでは、会員の皆様がカカオに関する課題解決のために1年間を通して目指す共通の年次目標を設定。決定した2024年度年次目標は以下の通り。年次目標は、全体を通して達成すべき大項目と、児童労働・森林破壊・生計向上の主要課題3分野における項目から構成される。

[開発途上国におけるサステナブル・カカオ・プラットフォーム プラットフォーム年次目標を策定しました | 事業について - JICA](#)



持続可能なカカオの生産と消費の実現に貢献する



児童労働

あらゆる形態の児童労働を終わらせることに貢献する



森林破壊

森林減少を食い止め、生物多様性の保全と気候変動緩和に貢献する



生計向上

カカオを主たる生計活動とする農家が生活所得を確保できるようになることに貢献する



情報発信



サステナブル・カカオ・ニュース配信（毎月1回）

会員の方向けにサステナブル・カカオ、児童労働、責任ある企業行動等に関する様々な最新情報や、関連するイベントのご案内等を目的としたメールマガジンを配信。



消費者・学生向けの講義・イベント（3回実施/2024年度）

小学校や大学向けに、カカオ産業が抱える課題、日本のカカオ産業関係者が協働し合うためのプラットフォームでの活動に関して、講義を実施。



エクアドル大使館イベント

エクアドル大使館が主催する「エクアドル産カカオとチョコレートの展示会 & 試食会」にてプラットフォームの活動を紹介。

【2024年度】プラットフォームの取り組み



分科会活動

設定した年次目標の達成に向け、分科会においてテーマごとにより具体的な議論・取り組みを推進した。



児童労働分科会

2022年に策定した「児童労働撤廃に向けたセクター別アクション」に基づき、賛同組織に対して、取り組み状況に関する調査を実施、年次レポートを作成。



エクアドル分科会

2024年度に新規に分科会を立ち上げ、エクアドルカカオに関する知見を共有。2025年3月には会員の参加者を募りエクアドルスタディツアーを実施（詳細後述）。



トレーサビリティ分科会

2024年度に新規に分科会を立ち上げ、トレーサビリティに関する会員の関心分野を取りまとめ。



スタディツアー（生産地視察）



エクアドルスタディツアー

世界第三位のカカオ生産国である中南米エクアドルにおけるスタディツアーを開催。カカオ農園や集荷場、チョコレート工場、現地のチョコレートショップの訪問や、生産省の副大臣・農産業局長との意見交換を実施した。QRコードでカカオ豆に関する情報を管理し、トレーサビリティを実現している集荷場や、農家の収入工場を目指したチョコレート製品化を支援する県営の加工工場、生物多様性を守りながら、カカオだけでなく様々な植物を生産するチャクラ農法など、サステナブルなカカオ生産のための各種取り組みについての学びを深めた。

【2024年度】プラットフォームの取り組み



勉強会・イベント開催



世界フェアトレード・デー イベントにブース出展（5月）

世界フェアトレード・デーである5月11日に開催された国内最大規模のフェアトレード啓発キャンペーン「ミليونアクションキャンペーン2024」のトークイベントにブース出展を実施。

[フェアトレード・ラベル・ジャパン主催 世界フェアトレード・デー スペシャルイベントにブース出展を行いました](#) | [事業について - JICA](#)



会員向けトレーサビリティに関する勉強会（7月）

カカオ産業におけるトレーサビリティ確保に取り組む会員より、トレーサビリティの重要性やトレーサビリティ確保のための取り組み、その先にある施策などについて発表を実施。

－ 登壇者：

地球環境戦略研究機関（IGES） 藤崎様

国際緑化推進センター（JIFPRO） 高原様、山本様

株式会社シンメイ 鹿山様

株式会社立花商店 石本様

[トレーサビリティに関する勉強会を実施しました](#) | [事業について - JICA](#)



会員向け認証に関する勉強会（8月）

各種認証制度独自の取り組みに加え、認証機関によるデューデリジェンス体制や審査プロセス、EUDRやCSDDDに対する認証の対応状況等について知見・事例を共有するため、認証をテーマとした勉強会を開催。

－ 登壇者：

フェアトレード・ラベル・ジャパン 潮崎様

レインフォレスト・アライアンス 一倉様

Preferred by Nature 小林様



ショッピングモールにおけるイベント（10月）

会員であるセブン&アイ・ホールディングス様にご協力いただき、お子様がカカオにまつわる様々な課題を楽しく学べるイベント「『人と地球にやさしいチョコ』のひみつを知ろう！」を、アリオ鷺宮にて開催。カカオ産業の課題、プラットフォーム・会員企業の取り組みについてクイズを交えわかりやすく解説。

－ 登壇者：

有楽製菓株式会社 牧様

バリー・カレボージャパン株式会社 高山様

[アリオ鷺宮でイベント「人と地球にやさしいチョコ」のひみつを知ろう！を行いました](#) | [事業について - JICA](#)



バレンタイン催事におけるイベント（2月）

阪急うめだ本店におけるバレンタインイベント「チョコレート博覧会2025」にて、カカオ産業の課題、プラットフォーム・会員企業の取り組みについてご紹介。

－ 登壇者：不二製油株式会社 後藤様

➤ 会員数

正会員：72 準会員：145

(2025/4/1時点)

➤ 正会員一覧

① 商社、加工業者

- ・ 伊藤忠食糧株式会社
- ・ Cacao Shares
- ・ 日新化工株式会社
- ・ 株式会社パートナーズ・ジャパンYAMATE (Noel Verde)
- ・ バリーカレボー・ジャパン株式会社 (P.8)
- ・ 不二製油株式会社 (P.8)
- ・ 三井物産株式会社
- ・ 欧州三井物産株式会社

② メーカー

- ・ イシヤマユウエン合同会社
- ・ UMEYA BRAINERY株式会社
- ・ 江崎グリコ株式会社
- ・ 株式会社OCA JAPAN (P.9)
- ・ 株式会社コタロー (P.9)
- ・ 株式会社 コンフィテラ (P.10)
- ・ 株式会社立花商店 (P.10)
- ・ Dari K株式会社
- ・ チョコレートデザイン株式会社 (P.11)
- ・ 東京フード株式会社
- ・ 株式会社ナチュラルコーヒー
- ・ Bwell
- ・ BINON CACAO JSC
- ・ 明治ホールディングス株式会社 (P.11)
- ・ 森永製菓株式会社 (P.12)
- ・ 有楽製菓株式会社 (P.12)
- ・ ロッツ株式会社
- ・ 株式会社ロツテ (P.13)
- ・ ロメロトレード株式会社 (P.13)

③ 小売業

- ・ 国分グループ本社株式会社
- ・ 株式会社セブン＆アイ・ホールディングス (P.14)
- ・ 日本生活協同組合連合会
- ・ Humming Bird BEAN to BAR Chocolate TOYAMA
- ・ 株式会社フェリシモ (P.14)
- ・ MAAHA株式会社

④ NGO、ナレッジ機関、認証機関

- ・ いであ株式会社
- ・ 特定非営利活動法人ACE (P.15)
- ・ 特定非営利活動法人AMDA社会開発機構
- ・ 株式会社オウルズコンサルティンググループ (P.15)
- ・ 株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル
- ・ カカオ研究所
- ・ 一般社団法人College Impact Japan
- ・ 公益財団法人国際緑化推進センター (P.16)
- ・ 一般社団法人持続可能なサプライチェーン研究所(P.16)
- ・ NPO JAPAN CONNECT
- ・ 一般社団法人ソリダリダード・ジャパン (P.17)
- ・ 国際機関太平洋諸島センター
- ・ 公益財団法人 地球環境戦略研究機関 (IGES)
- ・ デロイト トーマツ コンサルティング合同会社 (P.17)
- ・ 一般財団法人日本国際協力システム
- ・ 特定非営利活動法人パンフィックガーデン
- ・ 特定非営利活動法人パルシック
- ・ BHR Lawyers Network Japan
- ・ 認定NPO法人フェアトレード・ラベル・ジャパン (P.18)
- ・ Preferred by Nature (P.18)
- ・ 国際協力NGOマmanoアマゾン
- ・ NPO法人雪浦あんばんね
- ・ 株式会社ラーベン・アンド・ニールセン (P.19)
- ・ レインフォレスト・アライアンス (P.19)

⑤ 政府、政府機関

- ・ 独立行政法人国際協力機構 (JICA) (P.20)

⑥ 業界団体

- ・ 日本チョコレート工業協同組合
- ・ 日本チョコレートココア協会

⑦ その他

- ・ アジア航測株式会社
- ・ 株式会社UPDATER
- ・ 奄美ソーシャルビジネスオフィス合同会社
- ・ 株式会社シンメイ (P.20)
- ・ 国立大学法人 長岡技術科学大学
- ・ 一般財団法人 日本国際協力システム
- ・ 日本大学 国際関係学部 鈴木ゼミナール (P.21)
- ・ 株式会社博報堂
- ・ 株式会社リロエクスセル
- ・ ONE-Table合同会社

※他匿名希望2団体



Platform
for Sustainable Cocoa
in Developing Countries

プラットフォーム会員企業／団体による 持続可能なカカオ産業の実現に向けた取組



「第7回フォーエバーチョコレート 進捗レポート(2022/23年度)」は、昨年度の成果をハイライトし、さらに進化する戦略について掘り下げています。

*「フォーエバーチョコレート」は、サステナブルなカカオとチョコレートのサプライチェーンを構築することを掲げた、私たちの長年のコミットメントです。



■ フォーエバーチョコレート

私たちはサステナビリティ・プログラムに新たに約12万人のカカオ生産者を加え、活動範囲を35%拡大しました。

■ 生産者の繁栄

ファームサービス事業では、引き続き約17万人の生産者を支援し、特に有給労働チームによるカカオ生産者支援プログラムの規模を2倍以上に拡大し、約2万ヘクタールに達しました。

■ 人権

コミュニティ・システムの強化と児童労働の監視・是正システムの強化に重点的に取り組み、直接的サプライチェーンの生産者グループの80%近くをカバーしています。

■ 自然を豊かに

生態系サービスへの支払いを含む強化型アグロフォレストリー・アプローチを拡大し、新たに18,000ヘクタール以上を導入しました。

■ サステナブルな原材料 - 販売された製品の半数以上が、100% サステナブルなカカオやチョコレートを使用しています。

Webサイト [フォーエバーチョコレート進捗レポート2022/23 \(英語\)](#)

不二製油株式会社



不二製油株式会社は主要原料の一つであるカカオ豆の調達方針を定め、持続可能な方法で生産されたカカオ豆調達を目指すことを約束しています。

2018年に「責任あるカカオ豆調達方針」を定め、3つのコミットメントの実現に向けて計画策定・進捗状況をモニタリング、推進しています。

■ 農家の生活環境改善

- 農業指導や単収の向上、インフラ整備など農家コミュニティへの還元
- 女性のエンパワーメント：女性向け識字教育コース提供やVSLA（貯蓄貸付組合）の設立

■ サプライチェーン上の児童労働の撲滅

- 児童労働監視・是正システム（CLMRS）を構築：西アフリカの直接調達農家100%に導入
- 児童学習・教育施設（CLEF）と早期学習・栄養施設（ELAN）の業界イニシアチブに参加

■ 森林破壊の防止と森林保全

- 衛星画像の活用による森林モニタリングを実施。森林破壊リスクの評価の取り組み
- パートナーとの植樹の実施：2030年に100万本の植樹を目標

Webサイト [カカオのサステナブル調達 | サステナブルな食のバリューチェーン | サステナビリティ | 不二製油株式会社](#)

■ 企業概要

OCAは、ベトナム・バリア=ブントウ省チャウドック県を拠点に、(JAS/EU/USDA/COR) オーガニックカカオの栽培・加工・販売を行っています。地域農家や地域企業、地方政府と連携し、農業共同組合を運営しています。毎年、計画的にカカオの苗木の定植と肥料の配布を行い、2024年は10万本定植(100ha)を実施。現在、230haのカカオ農園と契約しています。OCAの工場は地元の農家とのコミュニティ拠点でもあり、定期的な技術共有や研修を行い、持続可能な農業を推進しています。現在の主要マーケットは、ベトナム国内とヨーロッパとシンガポールそして、日本になります。

■ サステナビリティ活動推進に向けた取り組み

- サプライチェーン・トレーサビリティシステムの構築や持続可能な農業の普及活動をしています。農家に有機栽培のノウハウを提供し、土壌改良や自然農法導入をサポートしています。
- オーガニックカカオ農園の拡大と技術共有を毎年の定植活動、新たな農園を開発。有機肥料の使用や病害管理の技術共有を行い、生産性と品質向上を目指しています。
- ベトナム農村地域への地域経済の発展の為、ラムドン省ダムロン県などの少数民族地域に対して、カカオ栽培技術の共有サポートを実施しています。
- カカオの全ての部位を活用する研究開発、チョコレート以外のカカオ製品の研究開発を行っています。例えば、カカオポッドを肥料や炭として活用するなど、持続可能な資源利用を推進しています。

Webサイト <https://www.ocajapan.com/>

株式会社コータロー (ママノチョコレート)



■ エクアドルアマゾンのチャクラ農法カカオを広めるチャクラ認証機関の倫理委員会のメンバー及び日本における認証機関代理としての普及活動を実施

■ 背景

FAO(国連食糧農業機関)が2023年にエクアドルアマゾンの伝統的なアグロフォレストリー農法である『チャクラ』システムを世界農業遺産に認定。アマゾン地域に住むキチュア族のカカオ組合が中心となり農家による農家のための認証機関チャクラコーポレーションが設立。FAO、WWF、ナポ県など多様な主体が協力して設立された。

■ 当社活動

チャクラコーポレーションの倫理委員会の国際企業代表として選定され、制度設計や認証制度の設計に携わっている。また、チャクラコーポレーションの日本におけるチャクラ認証プロセスを請け負っている。チャクラ農法のアリバカカオをはじめとしたこの地域の産物を使用してくださる企業にチャクラ認証の使用広報普及に努めている。

Webサイト <https://mamano-chocolate.com/>

【世界中の美味しいをつなぐプロフェッショナルとして製菓業界の未来に貢献】を会社理念に世界各地の原料を輸入する専門商社

- World Cocoa Foundation(WCF)やJICAプロジェクト等を通じて、カカオ豆のサプライチェーンのサステナビリティ向上に取り組んでいます。特にカカオ農家の収入増加を通じて、児童労働の撲滅と森林伐採などによる環境破壊の防止に注力しています。
- 各ココア加工業者のサステナブルプログラム（ココアホライズン等）を推奨し、弊社お取引様への啓蒙活動に努めています。
- レインフォレストアライアンスやRSPOなどの認証を取得し、サステナブルに関する情報収集に努めています。

Webサイト [confitera（株式会社コンフィテラ）](https://www.confitera.co.jp/)

ソーシャルトレーディング・カンパニーとして、生産者目線の必要な支援の提供と、サステナビリティに配慮したカカオ豆の調達を実践

- **世界25カ国以上の国からサステナブルなカカオ豆の調達**
認証豆やトレーサブル豆を多く取り扱うことで、サステナブルなカカオ豆の調達を実践。年間20,000トン以上のカカオ豆を取り扱い、世界各国の産地の情報や動向にも精通。
- **お客様のCSR活動をカカオ生産地にてフルサポート**
インフラ整備(井戸・橋の建設)、生産性向上(農薬散布機・剪定器具の配布及びトレーニングの実施)、所得向上、子ども達への学用品の提供などを実施。独自のプログラムや予算に応じた活動にも対応。
- **環境に配慮した独自の活動を推進**
カカオ畑のマッピングや苗木の配布など森林保全に配慮した活動をガーナ現地で実践。特にバイオ炭による炭素隔離と土壌改善による収量改善に関する調査では、日本とガーナの大学・研究機関と共同研究に取り組み、バイオ炭の生産と施用の普及に努める。

Webサイト [株式会社立花商店](https://www.tachibana.co.jp/) [EN FARMERS LBG \(NGO\)](https://www.enfarmerslbgo.org/)

横浜発のチョコレートブランド「VANILLABEANS」の運営を基軸に、サステナブルなカカオ & チョコレートの情報発信や理解浸透を目指しています

- **エクアドル共和国でのカカオの植樹、栽培支援プロジェクト**
気候変動によるカカオ生産量の減少や貧困問題を解決するため、エクアドルアマゾン地域に住むキチュア族のカカオ農業を始めたばかりの若者を対象とした、カカオの植樹、栽培、育成支援プロジェクトを始動。2024年4月に駐日エクアドル大使館へ表敬訪問、5月に3,130本の植樹を実施。
- **消費者を対象にカカオ原産国の課題や解決に向けての活動報告ワークショップを実施**
- **日本国内の高校生に向けたサステナビリティ対応に関する講演と総合学習への参画**
みなと総合高校：プロジェクトチームがフェアトレードへの理解を深め、2024年9月に学園祭でのチョコレート販売に協力。（売上はNPO団体ACEに寄付）／城郷高校：2023年10月にフェアトレードチョコレートについての講演会を実施後、2024年3月にはチョコレートの校内販売に協力。（売上は石川県地震の義援金として寄付、神奈川新聞にも掲載）
- **国内でのバレンタイン催事販売**
阪急うめだ本店、名古屋タカシマヤ、大丸神戸店、小田急百貨店新宿店、GINZA SIX などチョコレート需要期に各地で「フェアトレード認証」チョコレートを原料とした商品や、国際FAO世界農業遺産認定農法であるエクアドルの「チャクラ農法」によって栽培されたカカオを使った「チャクラ認証」取得のサステナブル商品の消費・販売促進と広報活動を実施。

Webサイト

[チョコレートデザイン株式会社](#)
[VANILLABEANS公式サイト](#)

2006年より独自のカカオ農家支援活動「メイジ・カカオ・サポート」によるカカオ産地の社会課題解決に取り組んでいます

- **メイジ・カカオ・サポート**
メイジ・カカオ・サポートは、以下9か国で展開しており、カカオ豆の発酵法などの技術支援や、井戸の寄贈などの生活支援、地域の環境保全・回復活動など、産地が必要とする最適な支援を行っています。

アフリカ	中南米	アジア
ガーナ、マダガスカル	ブラジル、ドミニカ共和国、エクアドル メキシコ、ペルー、ベネズエラ	ベトナム



また、各種目標を掲げ、この活動をより具体的に推進することで、持続可能なカカオ豆の生産を目指しています。

2026年度までに「明治サステナブルカカオ豆の調達比率100%」 ➡ 2024年度達成

農園までのトレーサビリティの確立 児童労働ゼロ 森林減少ゼロ

Webサイト

[メイジ・カカオ・サポート](#)
[メイジ・カカオ・サポート2024年度活動実績](#)

2030年にカカオ豆の持続可能な調達100%を目指し取り組みを推進

2030年目標：カカオ豆の持続可能な調達100%

1918年に日本で初めてカカオ豆からチョコレートを一貫製造した企業として、持続可能なカカオ豆調達に向け、当社ガイドラインに基づくサステナブル調達を推進。一例として、社会課題の解決を目指し、持続可能な調達に貢献する「ココアホライズン」プログラムに賛同し「ココアホライズン認証カカオ」などを採用。



1チョコ for 1スマイル

カカオ原料調達の安定化と、チョコレートビジネスの持続可能性向上を目指し、カカオ産地の未来を担う子どもの教育環境改善や児童労働問題への取り組みを、商品の売上の一部を使って支援。支援活動のパートナーとして、国際NGOプラン・インターナショナルと日本生まれのNGO ACEと連携。2008年からの支援累計額は3.1億円。2023年に社員がガーナの対象地域を訪問し、子どもたちと直接交流。現地の子ども保護委員会メンバー、ガーナ政府管轄機関であるココボード、カカオマーケティング公社とも対話を実施。



Webサイト [持続可能な原材料調達の推進](#) [カカオ調達ガイドライン](#) [1チョコ for 1スマイル](#)

主力商品を中心に自社で使用するカカオ原料を児童労働に配慮した原料へ切替を推進

企業概要

夢のある安くておいしいお菓子を創造する企業を目指し、チョコレート菓子「ブラックサンダー」をはじめとする菓子を製造・販売しています。

2022年9月より「ブラックサンダー」が、2024年7月には有楽製菓が使用するカカオ原料が100%児童労働に配慮された原料に切り替わりました。

取組概要

- 当社で使用するカカオ原料の切替を推進
- 当社の活動内容(スマイルカカオプロジェクト)をHPへ掲載
- NPO法人与連携した広報活動を実施

Webサイト [有楽製菓の児童労働問題に対する取り組み](#)

■ カカオ豆の持続可能なサプライチェーン実現に向けた調達活動を推進

■ 目標

2028年度までに調達するすべてのカカオ豆の生産地域把握（トレーサビリティ）と地域が抱える課題（児童労働／森林破壊／農家の貧困）への支援（ガーナ産は2025年度までに）

■ 子どもたちの生活・教育支援

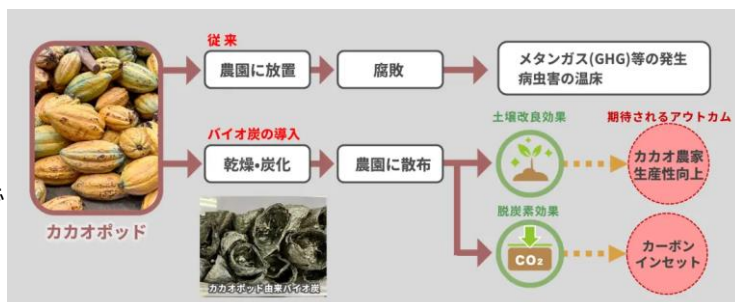
CLMRSによる支援に加え、水汲み作業の負担軽減につながる井戸の寄贈や、安心して学べる環境を提供する学校建設、ノート配布などの活動を行っています。また、現地と継続的にコミュニケーションを取り、世界のことやチョコレート製造について関心を持ってもらうきっかけ作りにも取り組んでいます。

■ 森林保全への取り組み

農園マッピングを行い、森林破壊への関与がないよう、実地調査も含めた確認を進めています。

■ 持続可能なカカオ生産支援

カカオ関連企業で協力して、カカオ農園で発生する未利用の副産物であるカカオポッドをバイオ炭として有効活用するべく、評価試験を進めています。



Webサイト

<https://www.lotte.co.jp/corporate/sustainability/cocoa/>
<https://www.lotte.co.jp/info/news/pdf/20240826140230.pdf>

ロメロトレード株式会社



■ 高品質と環境保全にこだわるファインカカオを中南米から直輸入

「カカオを未来に繋ぐ」をミッションとし、主にコスタリカやホンジュラスの様々なカカオ商材を日本へ

■ 生産者や先住民族コミュニティへの支援・トレーサビリティの確保

良質なカカオ生産者に市場価格以上の「プレミアム価格」で支払い、持続的な発展を支援。先住民族コミュニティにはカカオの価値や市場流通に関するセミナーを実施し、教育支援物資を提供。生産者の経済状況や収入の透明性を確認した上で契約を結んでいます。トレーサビリティの明確化を徹底し、持続可能な方法で生産されたカカオのみを取り扱うことでサステナブルなカカオの調達を保証しています。

■ 日本での「Bean to Bar」カカオセミナー・講演活動

教育機関や企業、一般向けに「Bean to Bar」セミナーを開催し、カカオ産業の現状やサステナブルな取り組みについて発信しています。カカオの生産工程だけでなく、児童労働の撤廃、フェアトレードの重要性を伝えています。

■ チョコレートブランド・企業の市場参入支援

中南米のチョコレートブランドや企業が日本市場に参入できるようビジネスサポートを実施。例）コスタリカのサステナブルチョコレートブランド「Sibu Chocolate（シブチョコレート）」の日本総代理店として展開をサポートし、百貨店やECで販売しています。

■ 環境保全への取り組み（アグロフォレストリー・カーボנקレジット）

森林と共存する持続可能な農業「アグロフォレストリー」を実践している農家からカカオを仕入れています。特に、コスタリカ政府が進めるカーボנקレジット制度に則った環境保全型農業を支援し、カカオ生産と生態系の共存を目指しています。この取り組みにより、生物多様性を守りながら、気候変動対策にも貢献できるよう努めています。

Webサイト

[ロメロトレード株式会社](#)

トレーサビリティ確保の取り組み強化と持続可能なチョコレート商品の拡大を進めています

- **国際フェアトレード認証商品の取り扱い**
セブンプレミアムでは、国際フェアトレード認証のチョコレート商品を販売しています。
- **ココアホライズン認証カカオを支援する商品の取り扱い**
セブンプレミアムでは、カカオ生産者の生活向上を目指すココアホライズン財団の持続可能な取り組みを支援するチョコレート商品を販売しています。
- **参加会員企業とのイベントの実施**
2024年10月6日 サステナブル・カカオ・プラットフォームと参加会員企業にご協力いただきアリオ驚宮店にて【「人と地球にやさしいチョコ」のひみつを知ろう！】イベントを実施致しました。
- **カカオ生産者への支援実施**
産地国を支援する団体と協力し、商品を通じてカカオ生産者の支援を実施致しました。
例) 特定のセブンプレミアム チョコレート商品の売上の一部をご協力団体へ寄付

Webサイト	https://www.7andi.com/sustainability/theme/theme3/raw-material.html
--------	---

幸福のチョコレート®

株式会社フェリシモ

FELISSIMO

LOVE & THANKS基金付商品の販売によりカカオ農園の児童労働をなくす活動を支援

- **基金付き商品の販売による支援**
ダイレクトマーケティング業のフェリシモでは海外チョコの取り扱いカタログ『幸福のチョコレート（しあわせのチョコレート）』で販売するすべてのチョコレートに約1%の「LOVE & THANKS基金」を付け、集めた基金をNPO法人ACEの「スマイル・ガーナプロジェクト」に拠出。カカオ農園の児童労働をなくす活動を生活者とともに支援しています。
- **消費者を啓蒙するメディアとしての役割**
カタログ、WEBサイトは販売ツールであると同時に、生活者に思いや情報を伝える重要なメディア。
2024年はバイヤーがガーナスタディツアーに参加し、自分の目で見たことを自分の言葉で語り、“カカオショック”の現状やサステナブルカカオの取り組みを伝え、「カカオの未来のために一緒に取り組もう！」と呼びかけた。



「幸福のチョコレート」にはすべてのチョコレートにLOVE & THANKS基金が付いています。

大好きなチョコレートで児童労働をなくす活動を支援!

「スマイルガーナプロジェクト」

  SMILE Ghana Project

ガーナを含む西アフリカ諸国では、カカオ農園で数十万人の子どもが働き、健康な成長を妨げる、からだに負担の大きい労働に従事しています。子どもたちが危険な労働をしなくすように、誰もが学校

Webサイト	https://www.felissimo.co.jp/choco/information_ch/kikin_ch
--------	---

企業や消費者、政府を巻き込み、公平で持続可能なカカオの生産と消費を築くことによるカカオ生産における児童労働問題の解決をめざす

■ カカオ生産地の子どもと農家の支援「スマイル・ガーナ プロジェクト」

児童労働や人身取引からの子どもの保護、コミュニティレベルの児童労働モニタリング・是正システムの確立、貧困家庭の子どもの就学支援、学校環境の改善、カカオ農家の自立支援を実施

■ カカオ関連企業・業界との連携

企業のサプライチェーンにおける児童労働対策支援、持続可能な商品・寄付つき商品等の企画支援。本プラットフォームの「児童労働撤廃分科会」を通じた、業界全体の取り組みの推進・強化

■ 政府の取り組み強化支援や国際レベルの政策提言

ガーナ政府の「児童労働フリーゾーン(CLFZ)」認定制度の構築・普及を支援
JICA委託事業「児童労働フリーゾーンを通じた子どもの保護主流化プロジェクト」を2024年2月より実施。国際会議や国際的なNGOネットワークを通じた政策提言

■ 消費者の啓発とメディアを通じた発信

学校の授業やイベントでの講演、教材・映画・書籍・メディアを通じた情報発信



Webサイト

[ACE「しあわせへのチョコレート」プロジェクト活動報告書（2023.4-2024.3）](#)
[ACE「2023年度（2023.9-2024.9）年次報告書」](#)

株式会社オウルズコンサルティンググループ



人権デューディリジェンス支援・サステナビリティ戦略立案支援や省庁連携、講演、レポート発行を通して、企業の取組みを促進

■ 企業の人権デューディリジェンス支援・サステナビリティ戦略立案支援

人権デューディリジェンスやサステナビリティ戦略立案の支援を行い、大手企業中心に幅広い企業の取組み加速を推進

■ 人権・サステナビリティ対応に関する講演多数

多数の政府関係機関・業界団体・企業による人権・サステナビリティ対応に関するセミナーに登壇（経済産業省「ビジネスと人権」セミナーなど）

■ 書籍「ビジネスと人権入門」、「児童労働白書 2020」、その他記事執筆を通じたナレッジ提供

児童労働問題の実態や企業側のリスクおよび対応方法などをまとめたレポート・書籍・記事の執筆を通して企業の取組を促進（雑誌オルタナ等の中で2024年度もカカオに関する記事複数執筆）

■ [参考] 経済産業省・農林水産省等による人権対応のガイド／手引きへの資料提供

経済産業省「責任あるサプライチェーン等における人権尊重のための実務参照資料」や農林水産省「食品企業向け人権尊重の取組のための手引き」の発行に際し、各省庁への資料提供等を実施。（手引き等の資料内部に提供資料掲載）

Webサイト

[Owls Consulting Group ホームページ](#)



森林伐採をしないカカオ豆のトレーサビリティのしくみ化事例の情報公開、途上国の森林保全＆林業の知見・ネットワーク等を活かした協力活動

■ トレーサビリティ勉強会 講師協力（2024.7.12）

1. トレーサビリティの先にある施策～カーボンクレジットや森林認証制度：高原 繁
2. ガーナ産豆の袋単位トレーサビリティ（グッドプラクティスとEUDR対策を解説）：山本朝子

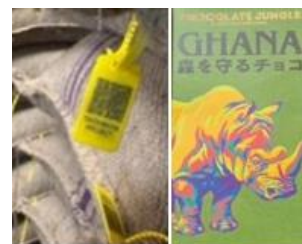
■ グッドプラクティス事例の公開・普及活動

1. JIFPROと立花商店のガーナ産カカオ豆のトレーサビリティの実証調査を、森林保全・生計向上に資する事例集（早見表）にとりまとめ。近日Web①へ公開予定
2. 当ガーナ事例をJIFPROのニュースレター②にて紹介。

※林野庁補助事業（途上国森林ナレッジ活用促進事業）の一環

■ フィリピンのカカオ

- ミンダナオのカカオ・チョコレート生産企業と情報交換、カカオプロット、発酵所等視察。
- 市販店等にてメダル型等の固形ココア「タブレア」を多数確認。（無糖品が健康に好印象）



Webサイト

<https://jifpro.or.jp/> ① <https://jifpro.or.jp/chiepro/> ② <https://bit.ly/4eP2ZWp>
https://www.instagram.com/chiepro_forest/

一般社団法人 持続可能なサプライチェーン研究所



農産品のサプライチェーンに関する啓発活動

- 途上国の小規模農家の暮らしや生計について発信し、日本の企業・消費者の理解を促し、サプライチェーンの変革に向けた取り組みを後押しします。
- ソリダリダード・ジャパンと協働してセミナー開催します。

■ 2024年度のテーマ

- ファッション産業（特に革製品）のサステナビリティに関する調査・ネットワーキング・啓発活動
- パーム油に関する調査研究・大学での講演



アブラヤシ栽培小規模農家
インドネシア・西カリマンタン

Webサイト

[持続可能なサプライチェーン研究所（ジゾ研） https://www.jizoken.org/](https://www.jizoken.org/)

小規模農家への支援活動を中心に、持続可能な農産品サプライチェーンの構築を推進

■ 団体概要

40か国以上で活動展開するソリダリダード・ネットワークの一員として、サプライチェーン全体へのアプローチを通じ、農家や労働者の生計向上および自然とのバランスが保てる農業・生産の普及に取り組み、サステナビリティと社会変革を推進します。

■ 取組概要

ソリダリダードでは、サプライチェーンを4層に分類し、それぞれに対してアプローチします。

- **生産活動の支援**：生産者に対して適切な農法の指導および農園管理の研修を行い、持続可能な生産への移行を支援
 - **市場参入の支援**：生産者を取り巻くビジネス環境の向上・ビジネス機会の創造を行い、生産者の生計向上を支援
 - **政策環境へのアドボカシー**：企業や金融機関の方針、政府機関の政策・基準などへの働きかけにより、サステナビリティへの取り組みを推進
 - **持続可能な消費の喚起**：持続可能な方法で生産・調達された製品の購入を促進
- カカオ生産地では、農村サービスセンターを設立し、農法指導、情報提供、コミュニティ計画、就職支援、マーケティングなど総合的なプログラムを実施しています。

Webサイト [Solidaridad Network](#) [ソリダリダード・ジャパン](#)

プラットフォーム運営事務局

デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社

Deloitte.
デロイト トーマツ

企業のサステナビリティ活動推進支援と、カカオ産業における児童労働、森林破壊等の問題解決に向けた取組やマルチステークホルダー連携を推進

■ 企業の人権デューデリジェンス、人権方針策定支援

企業の人権方針の策定、人権デューデリジェンス実施を支援

■ 企業の森林情報管理に関する支援

企業のサプライチェーン上の森林保護に関する情報管理支援を実施

■ ガーナ「児童労働フリーゾーン」の制度構築、普及の支援

JICA委託事業「児童労働フリーゾーンを通じた子どもの保護主流化プロジェクト」を実施

■ サステナブルカカオに関する消費者啓発、情報発信

大学での講義やイベント、メディアを通じてサステナブルカカオの実現に向けた情報を発信

■ 「開発途上国におけるサステナブル・カカオ・プラットフォーム」の運営

プラットフォーム事務局として、マルチステークホルダー連携を推進。

■ フェアトレード製品の社内販売促進

社内でフェアトレード製品販売とサプライチェーン上の社会的費用に関する啓発活動実施

Webサイト [児童労働撤廃に向けたデロイト トーマツの取り組み](#)
[デロイト トーマツ グループ Impact Report 2024](#)

国際フェアトレード認証制度の運営や、国内啓発キャンペーン、ダイアログ、カカオ生産現場での支援プロジェクトを通して、課題解決を推進

■ 国際フェアトレード認証制度の運営



児童労働の禁止や森林保護、農家の生計向上など、カカオセクターによる幅広い課題解決に繋がる

国際フェアトレード認証の制度を運営。日本における唯一の認証機関として企業と連携

■ 全国啓発キャンペーンとして5月フェアトレード月間に「ミリオンアクションキャンペーン」開催

全国で180以上の企業・NPO・飲食店等が参加して一斉に店舗やイベント等でフェアトレードの啓発を行うキャンペーン開催（後援：消費者庁、農林水産省、JICA）。カカオ等の背景にある社会課題や、日常生活を通じた貢献方法等について著名人アンバサダー等とともに告知したイベント等多数実施

■ 人権・サステナビリティ対応に関する講演やダイアログ実施多数

多数の業界団体・企業による人権・サステナビリティ対応に関するセミナーやダイアログにて登壇・連携

■ カカオ生産現場での支援プロジェクトの実施

フェアトレード・インターナショナルとして、カカオ生産国における児童労働や森林破壊、ジェンダー等の様々なテーマで支援プロジェクトを推進

Webサイト

[認定NPO法人フェアトレード・ラベル・ジャパン ホームページ](#)

[5月フェアトレード月間「ミリオンアクションキャンペーン」公式ホームページ](#)

国際NPO法人 Preferred by Nature



ミッション：より良い土地管理と、人、自然、気候に利益をもたらすビジネス実践を支援する

■ 主な活動・サービス

- ①認証審査サービス、②サステナビリティ・アドバイザリー・サービス、③ミッションドリブンプロジェクト、④トレーニング・ツール提供・リスク情報ポータルを提供しています。
- 事例：レインフォレスト・アライアンス認証、プリファード・バイ・ネイチャー認証など

■ EUDR関連

- 弊団体はEUTR公式モニタリング機関であり、またEUDRに関してもウェビナーやデューデリツールをご提供しております。

■ エクアドルカカオプロジェクト

- ドイツ国際協力公社（GIZ）の森林生態系のための持続可能な農業（SAFE）エクアドル・プロジェクトとプリファード・バイ・ネイチャーの共同プロジェクトにおいて、エクアドルの小規模カカオ生産者の組合において、EUDRの要件に適合するための現地の能力を強化し、デュー・ディリジェンス・システムを導入しました。

Webサイト

[Building DDS for smallholder cocoa farmers](#)

[PbNデューデリジェンスツール](#)

「カカオ2050年問題」解決に向けた“SAVE the CHOCOLATE”の推進

■ 社内勉強会の実施

社内メンバーが「カカオ2050年問題」についての見識を深めるための勉強会を実施。ガーナやコートジボワール等のカカオ農家を取り巻く現状や、児童労働・森林破壊についての調査研究を行った。

■ 大学ゼミとの連携

近畿圏内の大学ゼミに登壇し、SDGsをテーマにした講義を行った。カカオ農家が抱える恒常的な課題について解説し、等身大で行える国際貢献の具体例を示した。

■ 産学民連携による音楽イベントの実施

地域内の大学やまちづくり法人に文化・芸術・芸能分野での協働を呼びかけ、フェアトレードを啓発する音楽イベント「昼下がりの食奏」を実施した。

Webサイト [株式会社ラーベン・アンド・ニールセン 公式サイト](#)

レインフォレスト・アライアンス



認証プログラム、現地コミュニティとの活動などを通して、下記の問題に取り組んでいます

■ 森林破壊

➢ 認証プログラムでは、農場に位置情報の提供を義務付け、位置情報に基づくリスク評価を提供し、認証生産者の森林減少リスク対処を支援することで森林回復と再生の枠組みを目指している。

■ 児童労働

➢ 認証プログラムにおいて、児童労働を防止、監視、対応するための効果的な評価対処式デュー・ディリジェンス・システムを確立している。

■ 生活収入

➢ 認証プログラムにおいて、サステナビリティ差額（サプライチェーン企業から認証生産者への1トンあたり最低70米ドルの金銭的支払い）を実施している。この支払いは、生活所得格差の是正に向けたサプライチェーン関係者の活動の一つである。

■ トレーサビリティ

➢ 認証されたカカオ豆の100%が、農場から最初の購入地点まで追跡可能であり、3種類のトレーサビリティ種類を提供している。

■ 認証され、独自に検証されたカカオ

➢ 透明性の高い情報と消費者教育を提供することで、市場における認証カカオの需要拡大に貢献し、認証調達への切り替えを希望する企業を積極的に支援している。また、EUDRに対応する企業・生産者向けの追加モジュールの提供を行っている。

Webサイト [日本語ウェブサイト](#)（これらのページ以外にもカカオ関連の記事があります）
[英語ウェブサイト](#)（これらのページ以外にもカカオ関連の記事があります）

独立行政法人国際協力機構（JICA）

国際協力事業を通じて、さまざまなパートナーと連携・共創し、持続可能なカカオ産業の実現に取り組んでいます

- 二国間の国際協力事業を通じた、開発途上国政府によるカカオ産業の持続可能性実現に向けた取組の支援
 - ガーナ政府が推進する「児童労働フリーゾーン」の制度構築、普及の支援
- 海外投融資を通じた、開発途上国のカカオ産業の課題解決につながる民間活動支援
 - ガーナカカオ公社が実施する生産性向上プログラムへの融資
 - インドネシアにおける小規模なカカオ農家向け貸付支援に関する融資
- 民間連携事業を通じた、開発途上国のカカオ産業の課題解決に貢献するビジネス展開を目指す日本企業の支援
 - ギニア、マダガスカル、エクアドル等において、アグロフォレストリによるカカオ栽培、発酵処理技術の指導によるカカオの品質向上、トレーサビリティ・システムの構築等に関する民間企業の取組の支援
- 開発教育支援事業を通じた、カカオ産業の課題や課題解決に向けた行動に関する市民の理解促進
 - 市民向けイベント、学校向けの講義・出前講座の実施
- 開発途上国における持続可能なカカオ・プラットフォームの運営を通じた、多様なカカオ産業関係者による共創・協働の促進

Webサイト

[開発途上国における持続可能なカカオ・プラットフォーム | 事業について - JICA](#)
[JICA - 国際協力機構](#)

株式会社シンメイ



「エクアドル国カカオ高付加価値化のためのトレーサビリティプリンティングシステム普及・実証・ビジネス化事業」としてJICA「中小企業・SDGs 普及・実証・ビジネス化事業」「ミエル-カカオ」の取り組み

これまで2020年度中小企業・SDGsビジネス支援事業～案件化調査（中小企業支援型）」に採択され案件化調査を実施してまいりましたが、次のステップとして2024年から普及・実証・ビジネス化事業を進めることとなりました。本事業は、カカオのフードバリューチェーンのみえる化の基盤「ミエル-カカオ」を構築し、カカオベルトに普及可能なグローバルモデルの実証を推進しています。

これは、エクアドルはカカオの原産国であり、世界有数の生産国です。カカオはエクアドルにとってバナナ、花に次ぐ第三位の輸出農産品目で、特にプレミアムカカオと呼ばれる高級カカオはエクアドル産が世界のトップシェアを誇ります。カカオの生産現場、中間・輸出業者から日本をはじめとする海外のチョコレートメーカーまでのサプライチェーンに独自のアプリケーションや印刷技術を導入して品質や原産地等のデータを見える化させる「MIERU-CACAO」

（ミエル-カカオ）のシステムによって、エクアドル産の高品質カカオに新しい付加価値を加えて、世界のエクアドルカカオファンに新たな満足をお届けしながら、エクアドルカカオ産業の一層の発展に繋げていくことになります。また、課題①カカオの持続可能性確保

課題②カカオの品質の安定化・保証

課題③残留農薬・化学物質等の発生源特定

等の課題、社会的（人権的）、環境的、経済的、安全性の側面、また、カカオの持続可能性、国際市場における競争力向上、トレーサビリティの保証に寄与するものとして取り組んでいます。

Webサイト

[JICA「中小企業・SDGs 普及・実証・ビジネス化事業」に採択 | 産業用プリンターのシンメイ](#)
co-shinmei.com



日本大学国際関係学部鈴木ゼミナールは2022年9月に開講し、国際協力、フェアトレード、貧困削減、環境教育等の理論と実践を学んでいます。

■ 企業概要

より広く多角的な視点から、地域・国・世界、そこに生きる人々を捉えることのできる、旺盛な探究心と創造的な思考力を備えた知的人材の育成を目指す。

■ 取組概要

- 現代社会の環境・資源・教育・食糧等の諸問題の基礎知識習得（座学形式）
- 開発途上国での事業視察、日本国内での地方創生の取り組み視察等（現場視察・体験）
- 学生主体の事業形成の試行（産官学連携、NGO/NPO連携・フェアトレード等）

開発途上国における サステイナブル・カカオ・プラットフォーム HP・問い合わせ先

ウェブサイト:

[https://www.jica.go.jp/activities/
issues/governance/platform/index.html](https://www.jica.go.jp/activities/issues/governance/platform/index.html)



JICAガバナンス・平和構築部

「開発途上国におけるサステイナブル・カカオ・プラットフォーム」事務局

sustainable_cocoa@jica.go.jp



開発途上国における
サステイナブル・カカオ・
プラットフォーム